

クンドルニュース



Kyushu United Nations Depository Library

九州国連寄託図書館

11月5日 世界津波啓発デー World Tsunami Awareness Day



世界津波啓発デーは、2015年3月の第3回国連防災世界会議で日本政府によって提案され、2015年12月、日本をはじめ142か国が共同提案国となり、国連総会の決議によって制定されました。

同会議では、「仙台防災枠組2015-2030」が採択され、災害大国である日本の提案した考え方が多く採用されています。自然災害の対応について、以前は人道支援や復旧など、災害後の対応に焦点が当たる傾向がありましたが、日本は自らの経験から、事前の防災の重要性を強調しています。

世界津波啓発デーには、世界各地で防災訓練が行われるようになり、その様子が発信されていますが、実は防災訓練が初めてという国が多くあります。これまで3回の国連防災会議がいずれも日本で行われている点からも、防災に関して日本は先進国であり、津波がいつ来てもいいように備え、その被害を最小限に食い止めることの大切さを訴え、今後情報発信をしていく立場といえます。

なぜ11月5日なの？



1854年の11月5日に起きた安政南海地震により紀伊半島に大津波が襲来した際、現在の和歌山県広川町の庄屋だった濱口梧陵が、村人が自ら収穫した稲むら(稲束)に火をつけ、村人を高台に誘導し大津波から命を救った逸話「稲むらの火」に由来します。この逸話に基づき日本では、11月5日を津波防災の日としていました。第3回国連防災世界会議にて、日本はこの津波防災の日について触れ、世界中の防災意識の向上のため、この日を世界津波啓発デーとすることを提案しました。

詳しくは…

★外務省「世界津波の日」: https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/gic/page25_000294.html

★「世界津波啓発デー」国連公式ウェブサイト:
<https://www.un.org/en/observances/tsunami-awareness-day>



UNDRR(国連防災機関)



UNDRR(国連防災機関)はジュネーブを本部として2000年に発足した国連の防災分野担当の組織です。2019年に国連国際防災戦略事務局(UNISDR)より機関名称が変更されました。持続可能な開発に不可欠な要素として、防災の重要性を高め、災害による被害の減少と災害リスクの軽減を目指し、災害に強い国やコミュニティの構築に向けて取り組んでいます。

UNDRRのトップは日本女性初の国連事務総長特別代表(防災担当)を兼務する水鳥真美氏。地震、津波、噴火、台風など、災害大国日本の防災対策は、世界も注目しているとのこと。待ったなしの危機と言われる気候変動に、防災分野での地球規模の取り組みが求められています。

行動力があり、周りを明るい雰囲気で
満たしてくれる松村さん！
今後の活躍が楽しみです。

未来を創る
若者ファイル
No.6



松村 麻衣さん

世界目線で頑張っている若者
を紹介していくコーナーです！

Q 簡単に自己紹介をお願いします

—福岡教育大学の4年生です。現在、特別支援教育について学んでおり、4月からは福岡市で特別支援学校の教諭として働きます。

Q 思い出の旅行はありますか？

—家族で行った山口旅行です。バイト代で初めて両親に旅行をプレゼントしました。普段は話さないような進路の相談などをゆっくりと温泉に浸かりながらしたことを今でも鮮明に覚えています。

Q 思い出の本はありますか？

—『嫌われる勇気』(岸見 一郎／著 古賀 史健／著 ダイアモンド社)です。この本では、他人評価が気になり自由になれず、幸福にはなれないと述べられておりとても共感しました。周りの意見に振り回されることなく自己決定することの重要性を痛感しました。

Q「座右の銘、または好きな言葉はありますか？」

—「艱難汝を玉にす」です。ピンチは最大のチャンスだと思っていて、高い目標を持ち、困難を乗り越える過程を大切にできるようにいつも心に留めています。

Q 将来の夢は？

—未来を担う子どもたちの教育に精進したいと思っています。愛情をもって接し、子どもたちの成長を支えていけるような先生を目指しています。

Q 自己アピールをどうぞ！

—この仕事を選んだのは、小学生の頃、特別支援学級に通っている友達がいる、通常学級とは異なる授業や体験学習をしていることを知り興味を持ったことがきっかけです。

障害がある子どもが主体性をもって生き生きと学んだり、経験したりすることができるような支援をする先生になりたいと思います！



ご存知ですか
国際デー



11月21日 (())
世界テレビ・デー
World Television Day

国連は、1996年12月の国連総会において、11月21日を「世界テレビ・デー」と宣言する決議 ([A/RES/51/205](#)) を採択しました。1996年のこの日、国連で初めての「世界テレビフォーラム」が開催されたことに由来し、強力な通信メディアとして平和と発展の促進を担うテレビの役割を認識することを目的としています。

国連のホームページでは、過去の映像が見られる映像ライブラリーや、ライブ映像が見られる UN Web TV などのコンテンツが充実しています。



編集後記



朝日新聞が2017年から行っている「SDGs 認知度調査」。最新調査ではSDGsという言葉を知った人が約5割に達したとのこと。認知度は高まったものの、実行まではいま一歩、という報告も。

今回、新生活の抱負を熱く語ってくれた松村さんの言葉を通して「日常の仕事や生活においてもまだまだできることはあるはず」と改めて感じました。

詳細をお知りになりたい方は、ぜひ2階国際・
国連カウンターにお立ち寄りください！



九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階
TEL 092 (852) 0628 URL <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp>

開館時間：10:00～20:00

10:00～19:00 (日・祭日)

* 相談業務は 19:00(日・祭日 18:00)まで

休 み：毎週月曜・毎月月末

(休日のときはその翌平日)

年末年始・図書特別整理期間